

利用上の注意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成25年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記しています。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年（末）比は原指数を、前期（末）比は季節調整済指数を用いて算出しています。

3 その他

(1) 本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産（指数）」、「出荷（指数）」、「在庫（指数）」、「在庫率（指数）」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「○年」とあるものは暦年間（1～12月）を示し、「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」は「1～3月期（末）」、「4～6月期（末）」、「7～9月期（末）」、「10～12月期（末）」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「—」・・・該当がないもの 「△」・・・マイナス（比較減）
「X」・・・数値が秘匿されているもの

(2) 業種分類、採用品目数等

「神奈川県工業生産指数について」（P83～P92）を参照してください。

I 神奈川県工業生産の動向

1 概要 ー生産指数は前年比△3.3%と3年連続して低下ー

(1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、90.5で前年比3.3%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.7%上昇し3期ぶりに上昇、

II期も同0.6%上昇、III期も同3.5%上昇、IV期は同2.5%低下しました。

<全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数（原指数）は、97.0で前年比0.8%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.5%上昇し4期ぶりに上昇、

II期も同1.6%上昇、III期も同1.8%上昇、IV期も同1.8%上昇しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、94.0で前年比2.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.8%低下し4期連続して低下、II期は同0.8%上昇、III期も同2.3%上昇、IV期も同1.7%上昇しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、90.1で前年比4.7%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.8%低下し5期連続して低下、II期は同0.6%上昇、III期も同2.7%上昇、IV期は同1.7%低下しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、92.2で前年末比0.2%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期末比4.3%上昇し4期ぶりに上昇、II期も同0.7%上昇、III期は同1.6%低下、IV期も同2.1%低下しました。

◎ 年間の動き

以上のように、生産指数（季節調整済指数）は、IV期を除いて各期とも上昇しました。出荷指数（同）は、I期、IV期は低下、II期、III期は上昇しました。在庫指数（同）の前期末比では、I期、II期は上昇、III期、IV期は低下しました。

また、生産・出荷指数（原指数）の前年同期比ではI期、II期は低下、III期、IV期は上昇しました。在庫指数（同）の前年同期末比は各期とも低下しました。

県内の工業生産は3年連続して低下し、輸送機械工業やプラスチック製品工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産は、I期は4期ぶりの上昇となり、以降各期とも上昇し4期連続の上昇となりました。

（P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照）

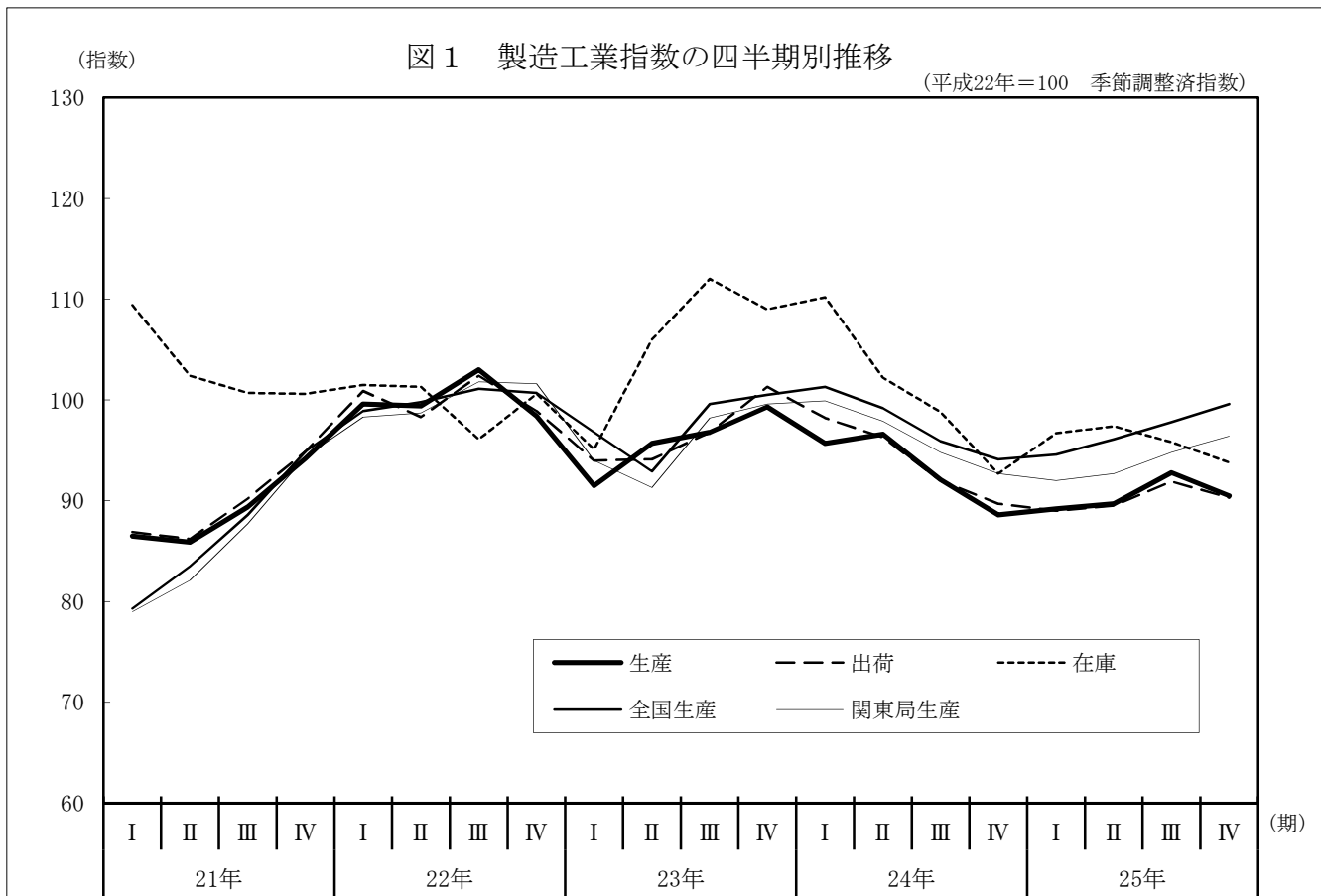


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成22年=100)

		平成21年	22年	23年	24年	25年	25年			
							I	II	III	IV
神奈川県	指数	88.9	100.0	95.3	93.6	90.5	89.2	89.7	92.8	90.5
	生産	△ 20.4	12.5	△ 4.7	△ 1.8	△ 3.3	0.7	0.6	3.5	△ 2.5
	対前年(期)末増減率% 対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	△ 9.0	△ 7.0	1.6	1.6
出荷	指数	89.5	100.0	96.0	94.5	90.1	89.0	89.5	91.9	90.3
	生産	△ 20.6	11.7	△ 4.0	△ 1.6	△ 4.7	△ 0.8	0.6	2.7	△ 1.7
	対前年(期)末増減率% 対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	△ 12.1	△ 6.9	0.5	0.6
在庫	指数	101.3	100.8	108.8	92.4	92.2	96.7	97.4	95.8	93.8
	生産	△ 15.9	△ 0.5	7.9	△ 15.1	△ 0.2	4.3	0.7	△ 1.6	△ 2.1
	対前年(期)末増減率% 対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	△ 12.2	△ 4.1	△ 2.8	△ 0.2
全国	指数	86.5	100.0	97.2	97.8	97.0	94.6	96.1	97.8	99.6
	生産	△ 21.9	15.6	△ 2.8	0.6	△ 0.8	0.5	1.6	1.8	1.8
	対前年(期)末増減率% 対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	△ 7.9	△ 3.1	2.3	5.9
関東経済産業局管内	指数	85.7	100.0	95.4	96.6	94.0	92.0	92.7	94.8	96.4
	生産	△ 22.5	16.7	△ 4.6	1.3	△ 2.7	△ 0.8	0.8	2.3	1.7
	対前年(期)末増減率% 対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	△ 9.4	△ 5.5	0.2	4.3

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

* 関東経済産業局管内：栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

<生産>

業種別にみると、シャシー・車体部品やエンジン（自動車用）などが減少した輸送機械工業（前年比 14.6%低下）や、プラスチック製機械器具部品などが減少したプラスチック製品工業（同 10.3%低下）など 12 業種が低下しました。

また、ガソリンなどが増加した石油・石炭製品工業（前年比 10.8%上昇）など 6 業種が上昇しました。

<出荷>

業種別にみると、小型乗用車やシャシー・車体部品などが減少した輸送機械工業（前年比 17.2%低下）や、プラスチック製機械器具部品などが減少したプラスチック製品工業（同 11.8%低下）など 12 業種が低下しました。

また、軽油などが増加した石油・石炭製品工業（前年比 5.9%上昇）など 6 業種が上昇しました。

<在庫>

業種別にみると、普通トラックや小型トラックなどが減少した輸送機械工業（前年末比 12.0%低下）やガソリンなどが減少した石油・石炭製品工業（同 7.3%低下）など 6 業種が低下しました。

また、普通鋼鋼帯などが増加した鉄鋼業（前年末比 13.2%上昇）など 10 業種が上昇しました。

(P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照)

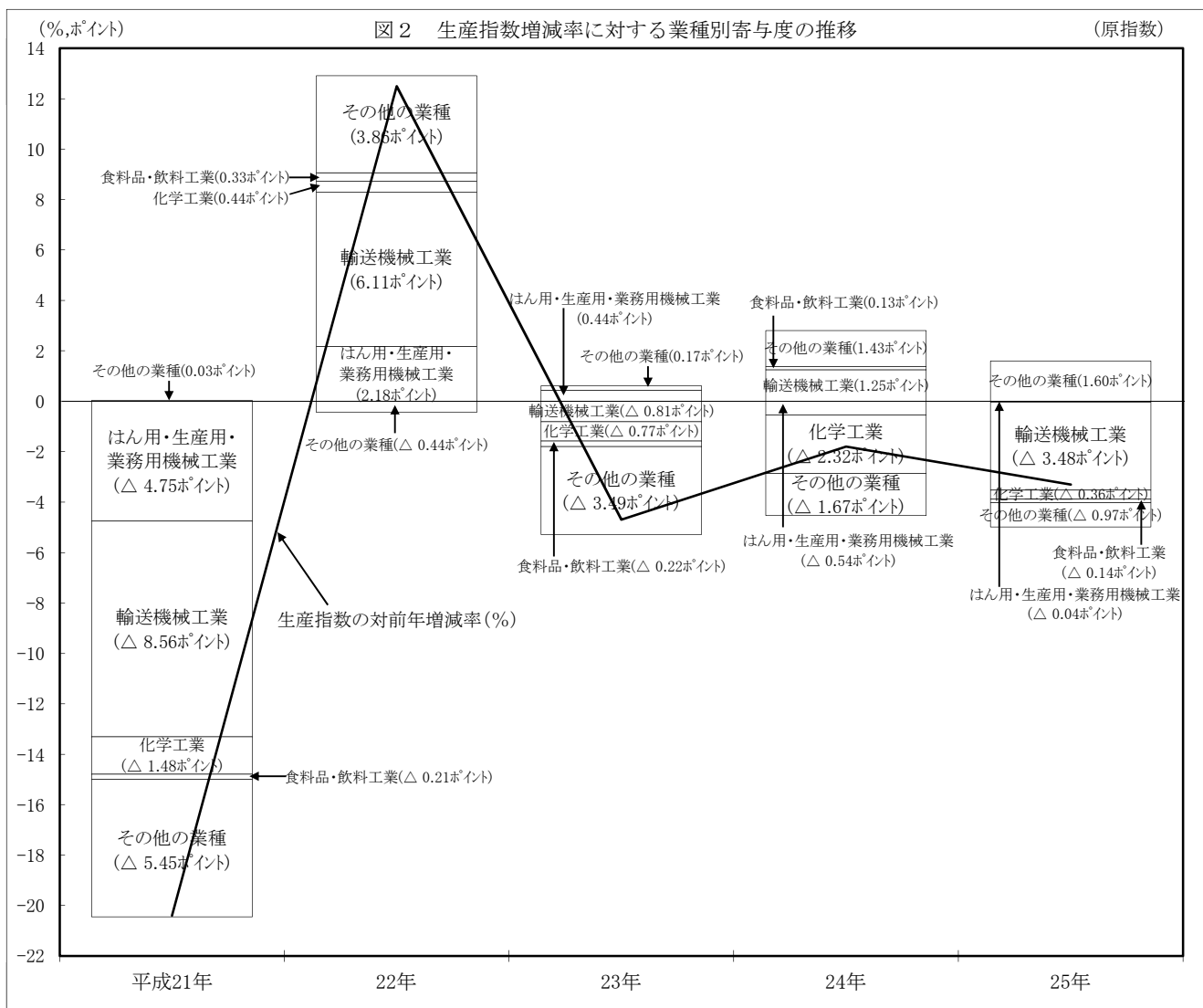


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 90.5 対前年増減率 $\Delta 3.3\%$ 上昇6業種、低下12業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	石油・石炭製品業	10.8	0.75	増	ガソリン、軽油、ジェット燃料油など
				減	灯油、A重油、C重油など
昇	情報通信機械業	8.1	0.60	増	デジタル伝送装置、パーソナルコンピュータ、陸上移動通信装置など
				減	はん用コンピュータ、無線応用装置、交換機など
低	輸送機械工業	$\Delta 14.6$	$\Delta 3.48$	増	機体部品・付属装置、特装ボデー、小型バスなど
				減	シャシー・車体部品、エンジン（自動車用）、小型乗用車など
	プラスチック製品工業	$\Delta 10.3$	$\Delta 0.49$	増	発泡プラスチック製品
				減	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製パイプ、プラスチック製フィルム・シートなど
	化学工業	$\Delta 2.3$	$\Delta 0.36$	増	医薬品、パラキシレン、合成ゴムなど
				減	化粧品、写真フィルム、合成洗剤など
下	食料品・飲料業	$\Delta 1.4$	$\Delta 0.14$	増	清涼飲料（炭酸飲料除く）、発酵乳、チョコレートなど
				減	炭酸飲料、水産練製品、チーズなど
	はん用・生産用・業務用機械工業	$\Delta 0.3$	$\Delta 0.04$	増	蒸気タービン部品、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、エレベータなど
				減	半導体製造装置、マシニングセンタ、ボイラ部品など

(2) 出荷 年指数 90.1 対前年増減率 $\Delta 4.7\%$ 上昇6業種、低下12業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	石油・石炭製品業	5.9	0.94	増	軽油、ガソリン、ジェット燃料油など
				減	C重油、灯油、A重油など
昇	情報通信機械業	4.0	0.22	増	デジタル伝送装置、パーソナルコンピュータ、陸上移動通信装置など
				減	無線応用装置、はん用コンピュータ、交換機など
低	輸送機械工業	$\Delta 17.2$	$\Delta 4.59$	増	機体部品・付属装置、特装ボデー、小型バスなど
				減	小型乗用車、シャシー・車体部品、エンジン（自動車用）など
	プラスチック製品工業	$\Delta 11.8$	$\Delta 0.35$	増	発泡プラスチック製品
				減	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製パイプ、日用品・雑貨プラスチック製品など
	はん用・生産用・業務用機械工業	$\Delta 2.1$	$\Delta 0.24$	増	蒸気タービン部品、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、エレベータなど
				減	半導体製造装置、装軌式トラクタ、マシニングセンタなど
下	食料品・飲料業	$\Delta 2.0$	$\Delta 0.16$	増	清涼飲料（炭酸飲料除く）、冷凍調理食品、発酵乳など
				減	炭酸飲料、牛乳、肉製品など
	化学工業	$\Delta 1.0$	$\Delta 0.13$	増	パラキシレン、プロピレン、医薬品など
				減	化粧品、写真フィルム、ポリエチレンなど

(3) 在庫 年指数 92.2 対前年末増減率 $\Delta 0.2\%$ 上昇10業種、低下6業種

業種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	鉄鋼業	13.2	1.75	増	普通鋼鋼帯、普通鋼鋼板、普通鋼棒鋼など
				減	普通鋼鋼管、特殊鋼鋼管、特殊鋼冷間仕上鋼材など
昇	情報通信機械業	55.0	0.46	増	陸上移動通信装置、パーソナルコンピュータ、ガス警報器
				減	—
	食料品・飲料業	3.9	0.18	増	チョコレート、果実酒、練乳・粉乳など
				減	混合植物油脂、ビスケット類、焼ちゅうなど
	化学工業	0.6	0.13	増	ポリエチレン、純ベンゼン、ポリスチレンなど
				減	合成ゴム、写真フィルム、ポリプロピレンなど
低	輸送機械工業	$\Delta 12.0$	$\Delta 1.40$	増	けん引車、大型バス、小型乗用車
				減	普通トラック、小型トラック、小型バスなど
	石油・石炭製品業	$\Delta 7.3$	$\Delta 1.14$	増	灯油、ジェット燃料油、ナフサなど
				減	ガソリン、軽油、コークスなど
下	はん用・生産用・業務用機械工業	$\Delta 3.4$	$\Delta 0.31$	増	工業用計重機、食料品加工機械、マシニングセンタなど
				減	掘さく機械、ダイヤモンド工具、精密測定機など

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成22年=100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		2 2年	2 3年	2 4年	2 5年	2 2年	2 3年	2 4年	2 5年	2 2年	2 3年	2 4年	2 5年	2 2年	2 3年	2 4年	2 5年
製造工業	指 数	100.0	95.3	93.6	90.5	100.0	96.0	94.5	90.1	100.8	108.8	92.4	92.2	100.0	106.7	104.8	101.0
	対前年増減率%	12.5	△ 4.7	△ 1.8	△ 3.3	11.7	△ 4.0	△ 1.6	△ 4.7	△ 0.5	7.9	△ 15.1	△ 0.2	△ 25.9	6.7	△ 1.8	△ 3.6
鉄鋼業	指 数	100.0	94.6	87.0	89.9	100.0	96.9	88.8	90.6	106.6	92.1	91.7	103.8	100.0	108.4	100.1	104.0
	対前年増減率%	38.1	△ 5.4	△ 8.0	3.3	30.2	△ 3.1	△ 8.4	2.0	15.9	△ 13.6	△ 0.4	13.2	△ 14.0	8.4	△ 7.7	3.9
非鉄金属工業	指 数	100.0	93.0	100.6	95.5	100.0	93.1	99.6	95.7	111.3	119.3	131.5	135.0	100.0	115.0	123.4	127.3
	対前年増減率%	13.9	△ 7.0	8.2	△ 5.1	14.3	△ 6.9	7.0	△ 3.9	18.9	7.2	10.2	2.7	△ 23.2	15.0	7.3	3.2
金属製品工業	指 数	100.0	99.2	102.3	97.0	100.0	99.0	99.2	93.3	101.5	117.7	111.0	115.6	100.0	128.5	120.4	135.0
	対前年増減率%	9.2	△ 0.8	3.1	△ 5.2	4.1	△ 1.0	0.2	△ 5.9	△ 6.4	16.0	△ 5.7	4.1	△ 18.0	28.5	△ 6.3	12.1
はん用・生産用業務用機械工業	指 数	100.0	103.8	99.3	99.0	100.0	103.2	100.6	98.5	100.2	125.3	81.3	78.5	100.0	91.6	81.9	77.7
	対前年増減率%	20.3	3.8	△ 4.3	△ 0.3	20.0	3.2	△ 2.5	△ 2.1	△ 20.7	25.0	△ 35.1	△ 3.4	△ 72.0	△ 8.4	△ 10.6	△ 5.1
電子部品・デバイス工業	指 数	100.0	82.9	79.3	75.5	100.0	82.8	80.5	76.2	134.7	214.9	152.5	3.7	100.0	180.6	173.8	131.6
	対前年増減率%	50.2	△ 17.1	△ 4.3	△ 4.8	51.3	△ 17.2	△ 2.8	△ 5.3	144.0	59.5	△ 29.0	△ 97.6	29.0	80.6	△ 3.8	△ 24.3
電気機械工業	指 数	100.0	84.6	86.5	89.6	100.0	86.7	84.6	88.2	78.2	38.3	53.9	58.1	100.0	60.2	52.0	62.7
	対前年増減率%	△ 0.9	△ 15.4	2.2	3.6	△ 0.9	△ 13.3	△ 2.4	4.3	△ 37.9	△ 51.0	40.7	7.8	23.9	△ 39.8	△ 13.6	20.6
情報通信機械工業	指 数	100.0	79.6	92.1	99.6	100.0	81.8	95.7	99.5	154.1	191.7	70.4	109.1	100.0	159.1	89.6	41.5
	対前年増減率%	12.4	△ 20.4	15.7	8.1	10.1	△ 18.2	17.0	4.0	118.0	24.4	△ 63.3	55.0	42.7	59.1	△ 43.7	△ 53.7
輸送機械工業	指 数	100.0	96.3	101.7	86.9	100.0	96.0	100.9	83.5	92.8	125.2	80.2	70.6	100.0	115.3	95.8	88.8
	対前年増減率%	32.8	△ 3.7	5.6	△ 14.6	31.1	△ 4.0	5.1	△ 17.2	△ 8.3	34.9	△ 35.9	△ 12.0	△ 12.4	15.3	△ 16.9	△ 7.3
窯業・土石製品工業	指 数	100.0	98.3	100.2	97.2	100.0	96.4	96.9	89.2	93.3	94.5	88.1	80.0	100.0	104.8	95.7	104.1
	対前年増減率%	12.6	△ 1.7	1.9	△ 3.0	11.5	△ 3.6	0.5	△ 7.9	△ 10.1	1.3	△ 6.8	△ 9.2	△ 17.3	4.8	△ 8.7	8.8
化学工業	指 数	100.0	95.7	83.4	81.5	100.0	94.8	87.0	86.1	103.3	120.4	108.8	109.4	100.0	112.5	128.1	117.9
	対前年増減率%	2.2	△ 4.3	△ 12.9	△ 2.3	2.7	△ 5.2	△ 8.2	△ 1.0	1.2	16.6	△ 9.6	0.6	△ 13.5	12.5	13.9	△ 8.0
石油・石炭製品工業	指 数	100.0	97.1	84.5	93.6	100.0	99.2	89.7	95.0	98.6	90.4	83.5	77.4	100.0	95.3	106.2	94.2
	対前年増減率%	△ 3.2	△ 2.9	△ 13.0	10.8	△ 4.9	△ 0.8	△ 9.6	5.9	△ 0.5	△ 8.3	△ 7.6	△ 7.3	1.7	△ 4.7	11.4	△ 11.3
プラスチック製品工業	指 数	100.0	95.6	88.7	79.6	100.0	94.7	86.8	76.6	100.3	104.4	91.9	96.1	100.0	115.6	110.1	112.2
	対前年増減率%	6.6	△ 4.4	△ 7.2	△ 10.3	11.7	△ 5.3	△ 8.3	△ 11.8	4.6	4.1	△ 12.0	4.6	△ 7.7	15.6	△ 4.8	1.9
紙・紙加工品工業	指 数	100.0	101.1	106.1	109.6	100.0	99.9	105.4	107.5	95.5	89.5	77.8	86.0	100.0	107.0	86.9	85.7
	対前年増減率%	4.9	1.1	4.9	3.3	1.9	△ 0.1	5.5	2.0	11.6	△ 6.3	△ 13.1	10.5	△ 4.6	7.0	△ 18.8	△ 1.4
繊維工業	指 数	100.0	103.4	98.5	92.0	100.0	105.4	100.6	90.8	148.0	151.5	85.0	74.4	100.0	104.2	87.6	89.1
	対前年増減率%	11.4	3.4	△ 4.7	△ 6.6	13.5	5.4	△ 4.6	△ 9.7	30.7	2.4	△ 43.9	△ 12.5	3.1	4.2	△ 15.9	1.7
食料品・飲料工業	指 数	100.0	97.6	99.0	97.6	100.0	98.8	99.0	97.0	97.3	100.0	99.1	103.0	100.0	99.0	92.2	94.3
	対前年増減率%	3.3	△ 2.4	1.4	△ 1.4	2.0	△ 1.2	0.2	△ 2.0	19.7	2.8	△ 0.9	3.9	0.2	△ 1.0	△ 6.9	2.3
その他工業	指 数	100.0	105.9	108.9	109.5	100.0	102.3	106.1	105.5	100.6	97.4	100.6	116.4	100.0	112.6	106.0	119.4
	対前年増減率%	△ 4.0	5.9	2.8	0.6	△ 7.1	2.3	3.7	△ 0.6	19.9	△ 3.2	3.3	15.7	14.0	12.6	△ 5.9	12.6
ゴム製品工業	指 数	100.0	95.1	99.3	99.0	100.0	95.7	101.2	100.1	100.6	97.4	100.6	116.4	100.0	112.6	106.0	119.4
	対前年増減率%	△ 1.2	△ 4.9	4.4	△ 0.3	△ 9.7	△ 4.3	5.7	△ 1.1	19.9	△ 3.2	3.3	15.7	14.0	12.6	△ 5.9	12.6
家具工業	指 数	100.0	100.9	100.9	96.6	100.0	99.9	100.4	96.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 3.3	0.9	0.0	△ 4.3	0.2	△ 0.1	0.5	△ 3.9	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	100.0	115.8	118.4	120.9	100.0	115.8	118.5	120.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 6.4	15.8	2.2	2.1	△ 6.4	15.8	2.3	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-
公益事業	指 数	100.0	100.0	115.3	112.6	100.0	92.0	95.2	91.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	4.0	0.0	15.3	△ 2.3	5.4	△ 8.0	3.5	△ 3.7	-	-	-	-	-	-	-	-
機械工業	指 数	100.0	93.6	96.9	91.4	100.0	94.5	97.9	88.7	97.4	122.5	78.8	73.9	100.0	104.7	87.7	81.1
	対前年増減率%	23.2	△ 6.4	3.5	△ 5.7	23.9	△ 5.5	3.6	△ 9.4	△ 12.2	25.8	△ 35.7	△ 6.2	△ 50.4	4.7	△ 16.2	△ 7.5

*生産・出荷・在庫率は年平均（年平均比）、在庫は年末（年末比）

*公益事業、機械工業は参考系列（P83 業種分類参照）

表 4

平成25年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成22年=100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製 造 工 業	指 数	89.2	89.7	92.8	90.5	89.0	89.5	91.9	90.3	96.7	97.4	95.8	93.8	104.6	99.2	102.5	97.2
	対前期増減率%	0.7	0.6	3.5	△ 2.5	△ 0.8	0.6	2.7	△ 1.7	4.3	0.7	△ 1.6	△ 2.1	0.9	△ 5.2	3.3	△ 5.2
鉄 鋼 業	指 数	85.2	88.8	89.3	96.3	85.2	92.2	89.9	95.4	92.8	96.9	103.2	104.1	101.3	101.8	111.6	100.7
	対前期増減率%	2.5	4.2	0.6	7.8	2.5	8.2	△ 2.5	6.1	0.5	4.4	6.5	0.9	△ 1.5	0.5	9.6	△ 9.8
非鉄金属 工 業	指 数	93.4	93.4	97.6	98.3	94.1	93.4	97.1	98.5	125.8	121.0	124.6	126.7	130.4	129.0	125.2	124.4
	対前期増減率%	△ 2.3	0.0	4.5	0.7	△ 0.7	△ 0.7	4.0	1.4	0.9	△ 3.8	3.0	1.7	△ 2.5	△ 1.1	△ 2.9	△ 0.6
金属製品 工 業	指 数	97.4	94.7	99.8	96.5	95.6	90.5	94.6	92.6	115.4	111.8	112.8	117.4	124.5	129.5	136.5	150.1
	対前期増減率%	△ 1.5	△ 2.8	5.4	△ 3.3	△ 2.5	△ 5.3	4.5	△ 2.1	1.1	△ 3.1	0.9	4.1	△ 2.7	4.0	5.4	10.0
はん用・生産用・ 業務用機械工業	指 数	91.3	94.6	111.2	99.1	91.6	93.3	109.9	100.0	78.1	81.9	79.7	75.3	85.8	79.6	78.2	68.9
	対前期増減率%	2.6	3.6	17.5	△ 10.9	1.3	1.9	17.8	△ 9.0	1.4	4.9	△ 2.7	△ 5.5	17.1	△ 7.2	△ 1.8	△ 11.9
電子部品・ デバイス工業	指 数	74.7	74.4	80.8	71.5	75.1	75.9	81.8	71.2	180.4	154.2	119.1	5.0	187.7	161.2	137.7	7.2
	対前期増減率%	3.9	△ 0.4	8.6	△ 11.5	4.0	1.1	7.8	△ 13.0	25.8	△ 14.5	△ 22.8	△ 95.8	36.1	△ 14.1	△ 14.6	△ 94.8
電気機械 工 業	指 数	88.0	93.9	86.6	91.8	85.3	92.0	86.4	90.3	52.3	54.9	61.3	55.9	58.7	58.5	69.2	64.6
	対前期増減率%	1.6	6.7	△ 7.8	6.0	1.9	7.9	△ 6.1	4.5	3.2	5.0	11.7	△ 8.8	△ 2.8	△ 0.3	18.3	△ 6.6
情報通信 機械工業	指 数	104.9	85.1	108.9	98.8	103.0	86.2	109.4	98.6	37.8	69.1	39.8	81.8	31.5	34.1	36.6	52.8
	対前期増減率%	4.7	△ 18.9	28.0	△ 9.3	2.2	△ 16.3	26.9	△ 9.9	△ 34.1	82.8	△ 42.4	105.5	△ 37.0	8.3	7.3	44.3
輸送機械 工 業	指 数	86.5	85.0	87.4	88.9	83.2	80.7	84.6	86.0	109.9	99.5	90.3	78.8	93.7	92.3	90.4	78.7
	対前期増減率%	△ 6.1	△ 1.7	2.8	1.7	△ 8.5	△ 3.0	4.8	1.7	37.0	△ 9.5	△ 9.2	△ 12.7	7.1	△ 1.5	△ 2.1	△ 12.9
窯業・土石 製品工業	指 数	96.2	98.3	98.2	96.4	87.9	90.5	91.8	86.3	88.7	86.4	82.5	81.7	118.3	97.3	93.4	104.1
	対前期増減率%	△ 2.8	2.2	△ 0.1	△ 1.8	△ 3.9	3.0	1.4	△ 6.0	△ 1.4	△ 2.6	△ 4.5	△ 1.0	25.3	△ 17.8	△ 4.0	11.5
化学工業	指 数	81.8	81.7	80.9	81.8	84.3	85.7	85.8	88.5	112.5	109.3	108.8	108.8	123.5	118.7	119.5	109.7
	対前期増減率%	1.7	△ 0.1	△ 1.0	1.1	△ 1.9	1.7	0.1	3.1	4.4	△ 2.8	△ 0.5	0.0	△ 8.4	△ 3.9	0.7	△ 8.2
石油・石炭 製品工業	指 数	90.6	102.7	94.1	88.7	94.0	101.8	95.2	89.7	86.3	89.1	86.9	82.0	99.5	90.2	92.9	95.1
	対前期増減率%	12.7	13.4	△ 8.4	△ 5.7	3.3	8.3	△ 6.5	△ 5.8	△ 0.1	3.2	△ 2.5	△ 5.6	△ 3.8	△ 9.3	3.0	2.4
プラスチック 製品工業	指 数	78.3	77.7	80.7	81.6	75.0	75.5	77.9	77.8	94.2	89.3	92.2	96.4	113.2	112.9	106.9	115.6
	対前期増減率%	△ 4.4	△ 0.8	3.9	1.1	△ 5.8	0.7	3.2	△ 0.1	0.5	△ 5.2	3.2	4.6	0.7	△ 0.3	△ 5.3	8.1
紙・紙加工品 工 業	指 数	106.2	108.8	112.3	110.7	104.1	107.6	108.3	108.8	99.4	98.1	104.0	100.1	90.1	82.0	87.8	83.5
	対前期増減率%	△ 0.8	2.4	3.2	△ 1.4	△ 2.8	3.4	0.7	0.5	11.8	△ 1.3	6.0	△ 3.8	11.9	△ 9.0	7.1	△ 4.9
繊維工業	指 数	94.2	94.9	95.5	85.1	88.7	102.4	93.0	79.1	98.1	70.1	63.0	59.8	106.5	80.7	94.3	76.3
	対前期増減率%	0.0	0.7	0.6	△ 10.9	△ 6.9	15.4	△ 9.2	△ 14.9	64.9	△ 28.5	△ 10.1	△ 5.1	46.7	△ 24.2	16.9	△ 19.1
食料品・ 飲料工業	指 数	100.3	97.0	96.9	96.7	99.7	96.8	96.1	95.3	99.1	100.0	105.4	105.0	94.0	89.1	96.0	97.5
	対前期増減率%	1.4	△ 3.3	△ 0.1	△ 0.2	1.7	△ 2.9	△ 0.7	△ 0.8	△ 3.4	0.9	5.4	△ 0.4	△ 2.6	△ 5.2	7.7	1.6
その他工業	指 数	109.3	111.5	109.4	108.2	102.4	106.2	105.1	108.3	107.4	126.5	136.9	126.5	108.7	112.9	130.6	123.9
	対前期増減率%	0.6	2.0	△ 1.9	△ 1.1	△ 3.0	3.7	△ 1.0	3.0	△ 0.8	17.8	8.2	△ 7.6	2.0	3.9	15.7	△ 5.1
ゴム製品 工 業	指 数	95.7	101.3	99.7	99.1	95.2	99.0	97.3	107.6	107.4	126.5	136.9	126.5	108.7	112.9	130.6	123.9
	対前期増減率%	△ 1.7	5.9	△ 1.6	△ 0.6	△ 4.1	4.0	△ 1.7	10.6	△ 0.8	17.8	8.2	△ 7.6	2.0	3.9	15.7	△ 5.1
家具工業	指 数	91.8	100.0	100.6	95.9	90.6	102.4	100.2	95.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 9.1	8.9	0.6	△ 4.7	△ 10.7	13.0	△ 2.1	△ 4.5	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	124.3	122.2	119.3	118.1	125.0	121.4	119.1	118.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	4.9	△ 1.7	△ 2.4	△ 1.0	5.0	△ 2.9	△ 1.9	△ 0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
公 益 事 業	指 数	111.2	112.5	112.6	114.4	92.4	90.7	92.1	91.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 6.8	1.2	0.1	1.6	△ 3.8	△ 1.8	1.5	△ 0.3	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	89.4	88.0	96.6	91.7	87.2	85.3	93.1	89.7	88.7	88.8	83.2	77.2	87.0	81.8	83.6	72.9
	対前期増減率%	△ 0.3	△ 1.6	9.8	△ 5.1	△ 2.1	△ 2.2	9.1	△ 3.7	14.9	0.1	△ 6.3	△ 7.2	10.4	△ 6.0	2.2	△ 12.8

*生産・出荷・在庫率は3か月平均（3か月平均比）、在庫は期末（期末比）

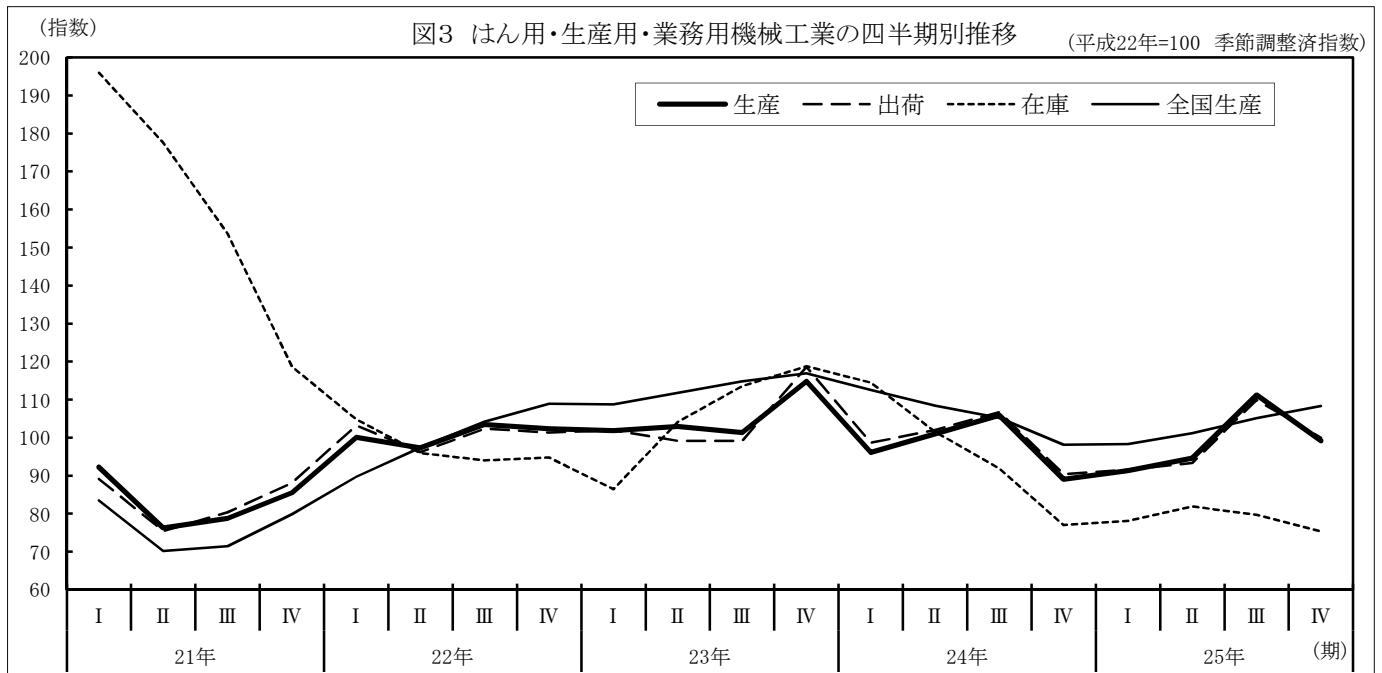
*公益事業、機械工業は参考系列（P83 業種分類参照）

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向

<はん用・生産用・業務用機械工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、99.0で前年比0.3%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比2.6%上昇、II期も同3.6%上昇、III期も同17.5%上昇、IV期は同10.9%低下しました。

品目別にみると、半導体製造装置やマシニングセンタなどが減少し、蒸気タービン部品などが増加しました。

また、全国のはん用・生産用・業務用機械工業の生産指数(原指数)は、103.2で前年比3.1%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、98.5で前年比2.1%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.3%上昇、II期も同1.9%上昇、III期も同17.8%上昇、IV期は同9.0%低下しました。

品目別にみると、半導体製造装置や装軌式トラクタなどが減少し、蒸気タービン部品などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、78.5で前年末比3.4%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比1.4%上昇、II期も同4.9%上昇、III期は同2.7%低下、IV期も同5.5%低下しました。

品目別にみると、掘さく機械やダイヤモンド工具などが減少し、工業用計重機などが増加しました。

表5 はん用・生産用・業務用機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

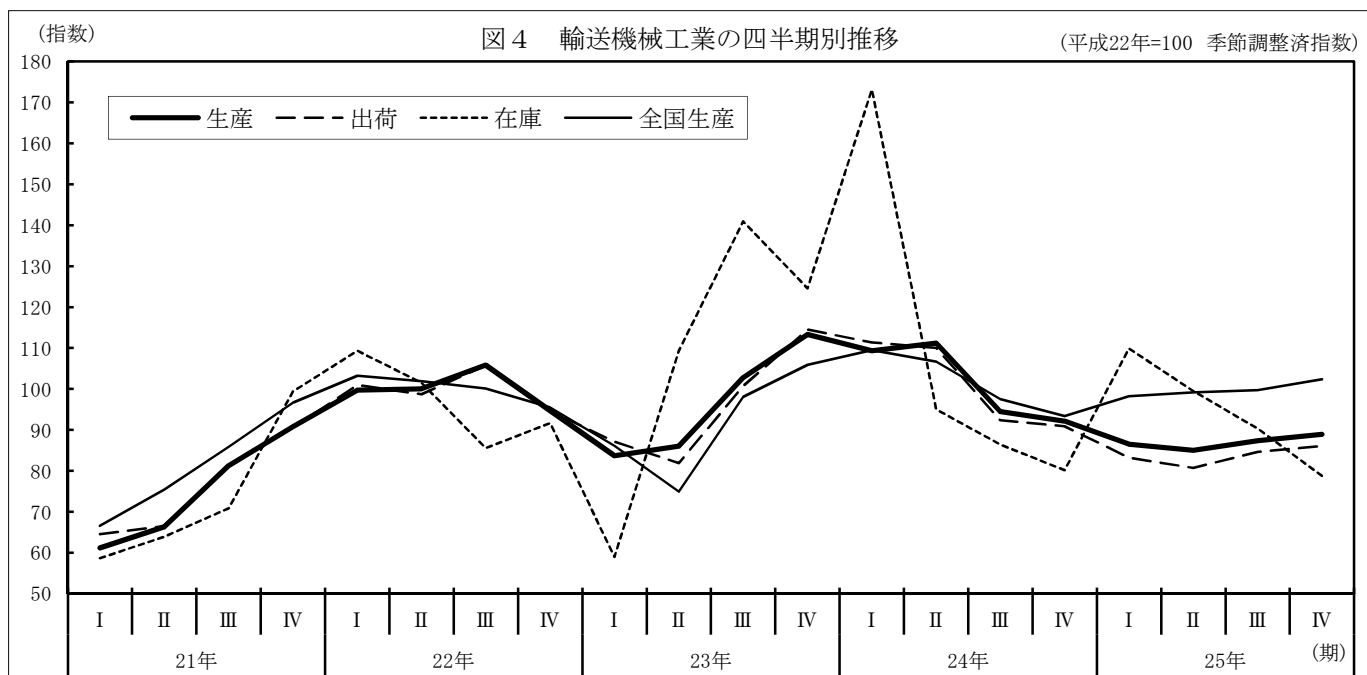
		24年		25年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV		
生産	指数	99.3	99.0	91.3	94.6	111.2	99.1	増 蒸気タービン部品、フラットパネルディスプレイ製造装置など 減 半導体製造装置、マシニングセンタ、ボイラ部品など	
	対前年(期)増減率%	△ 4.3	△ 0.3	2.6	3.6	17.5	△ 10.9		
出荷	指数	100.6	98.5	91.6	93.3	109.9	100.0	増 蒸気タービン部品、フラットパネルディスプレイ製造装置など 減 半導体製造装置、装軌式トラクタ、マシニングセンタなど	
	対前年(期)増減率%	△ 2.5	△ 2.1	1.3	1.9	17.8	△ 9.0		
在庫	指数	81.3	78.5	78.1	81.9	79.7	75.3	増 工業用計重機、食料品加工機械など 減 掘さく機械、ダイヤモンド工具、精密測定器など	
	対前年(期)末増減率%	△ 35.1	△ 3.4	1.4	4.9	△ 2.7	△ 5.5		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<輸送機械工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、86.9で前年比14.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.1%低下、II期も同1.7%低下、III期は同2.8%上昇、IV期も同1.7%上昇しました。

品目別にみると、シャシー・車体部品やエンジン(自動車用)などが減少し、機体部品・付属装置などが増加しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、99.8で前年比2.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、83.5で前年比17.2%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比8.5%低下、II期も同3.0%低下、III期は同4.8%上昇、IV期も同1.7%上昇しました。

品目別にみると、小型乗用車やシャシー・車体部品などが減少し、機体部品・付属装置などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、70.6で前年末比12.0%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比37.0%上昇、II期は同9.5%低下、III期も同9.2%低下、IV期も同12.7%低下しました。

品目別にみると、普通トラックや小型トラックなどが減少し、けん引車などが増加しました。

表6 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

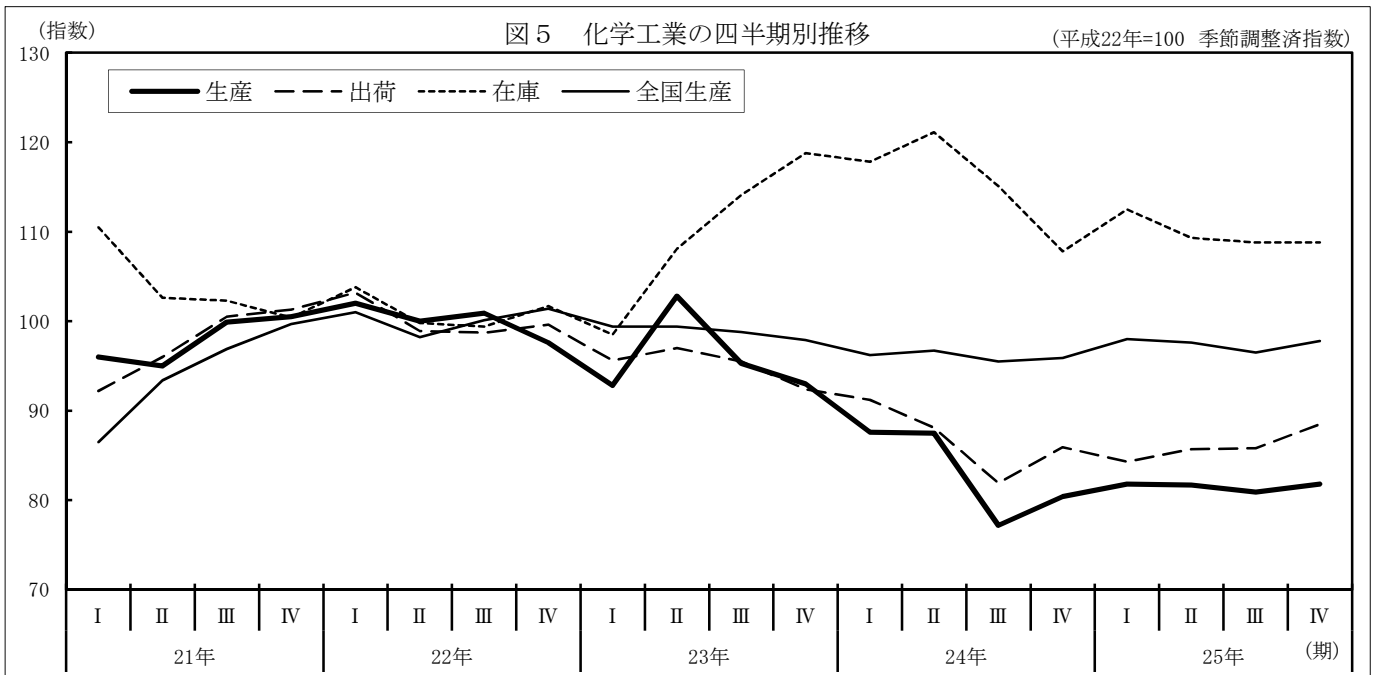
		24年		25年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV		
生産	指数	101.7	86.9	86.5	85.0	87.4	88.9	増 機体部品・付属装置、特装ボデーなど 減 シャシー・車体部品、エンジン(自動車用)、小型乗用車など	
	対前年(期)増減率%	5.6	△14.6	△6.1	△1.7	2.8	1.7		
出荷	指数	100.9	83.5	83.2	80.7	84.6	86.0	増 機体部品・付属装置、特装ボデーなど 減 小型乗用車、シャシー・車体部品、エンジン(自動車用)など	
	対前年(期)増減率%	5.1	△17.2	△8.5	△3.0	4.8	1.7		
在庫	指数	80.2	70.6	109.9	99.5	90.3	78.8	増 けん引車、大型バスなど 減 普通トラック、小型トラック、小型バスなど	
	対前年(期)末増減率%	△35.9	△12.0	37.0	△9.5	△9.2	△12.7		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<化学工業>

—生産、出荷とも3年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、81.5で前年比2.3%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.7%上昇、II期は同0.1%低下、III期も同1.0%低下、IV期は同1.1%上昇しました。

品目別にみると、化粧品や写真フィルムなどが減少し、医薬品などが増加しました。

また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、97.4で前年比1.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、86.1で前年比1.0%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.9%低下、II期は同1.7%上昇、III期も同0.1%上昇、IV期も同3.1%上昇しました。

品目別にみると、化粧品や写真フィルムなどが減少し、パラキシレンなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、109.4で前年末比0.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比4.4%上昇、II期は同2.8%低下、III期も同0.5%低下、IV期は同0.0%で横ばいでした。

品目別にみると、ポリエチレンや純ベンゼンなどが増加し、合成ゴムなどが減少しました。

表7 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		24年	25年				
				I	II	III	IV
生産	指数	83.4	81.5	81.8	81.7	80.9	81.8
	対前年(期)増減率%	△ 12.9	△ 2.3	1.7	△ 0.1	△ 1.0	1.1
出荷	指数	87.0	86.1	84.3	85.7	85.8	88.5
	対前年(期)増減率%	△ 8.2	△ 1.0	△ 1.9	1.7	0.1	3.1
在庫	指数	108.8	109.4	112.5	109.3	108.8	108.8
	対前年(期)末増減率%	△ 9.6	0.6	4.4	△ 2.8	△ 0.5	0.0

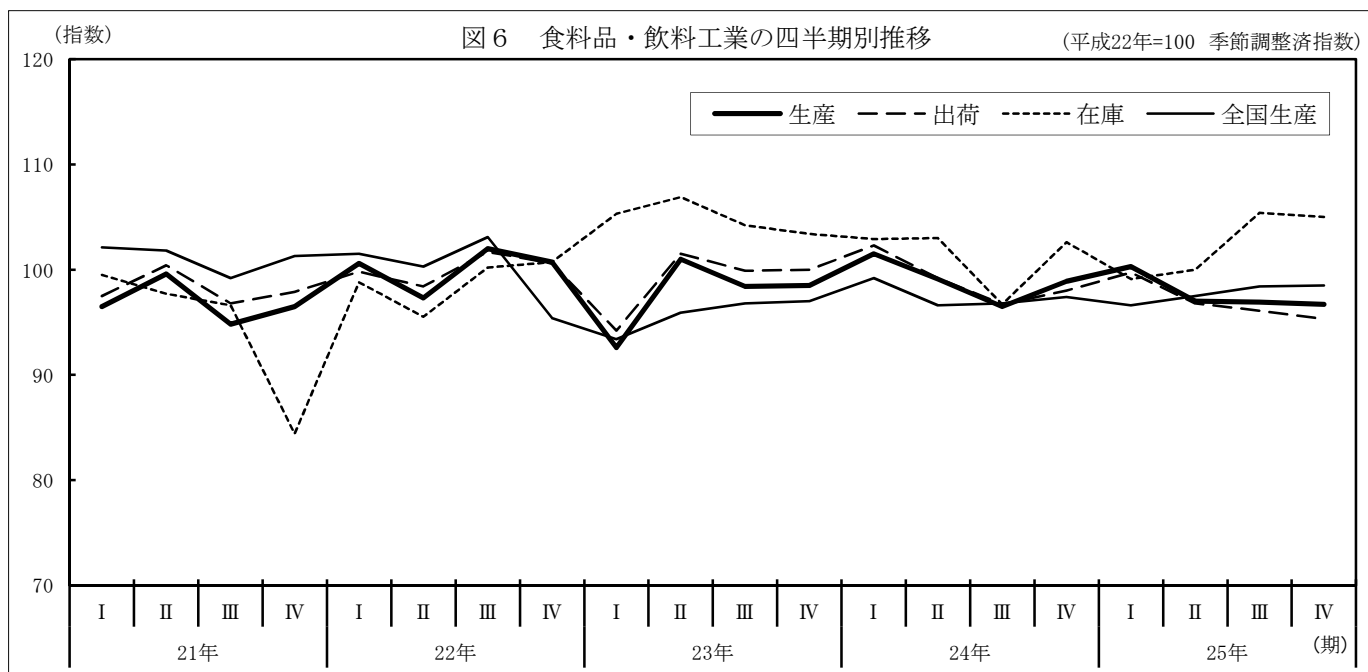
上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	医薬品、パラキシレンなど
	減	化粧品、写真フィルム、合成洗剤など
出荷	増	パラキシレン、プロピレンなど
	減	化粧品、写真フィルム、ポリエチレンなど
在庫	増	ポリエチレン、純ベンゼン、ポリスチレンなど
	減	合成ゴム、写真フィルムなど

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、97.6で前年比1.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.4%上昇、II期は同3.3%低下、III期も同0.1%低下、IV期も同0.2%低下しました。

品目別にみると、炭酸飲料や水産練製品などが減少し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが増加しました。

また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、97.8で前年比0.1%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、97.0で前年比2.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.7%上昇、II期は同2.9%低下、III期も同0.7%低下、IV期も同0.8%低下しました。

品目別にみると、炭酸飲料や牛乳などが減少し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、103.0で前年末比3.9%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比3.4%低下、II期は同0.9%上昇、III期も同5.4%上昇、IV期は同0.4%低下しました。

品目別にみると、チョコレートや果実酒などが増加し、混合植物油脂などが減少しました。

表8 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		24年	25年	I	II	III	IV
生産	指数	99.0	97.6	100.3	97.0	96.9	96.7
	対前年(期)増減率%	1.4	△1.4	1.4	△3.3	△0.1	△0.2
出荷	指数	99.0	97.0	99.7	96.8	96.1	95.3
	対前年(期)増減率%	0.2	△2.0	1.7	△2.9	△0.7	△0.8
在庫	指数	99.1	103.0	99.1	100.0	105.4	105.0
	対前年(期)末増減率%	△0.9	3.9	△3.4	0.9	5.4	△0.4

上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、発酵乳など
	減	炭酸飲料、水産練製品、チーズなど
出荷	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、冷凍調理食品など
	減	炭酸飲料、牛乳、肉製品など
在庫	増	チョコレート、果実酒、練乳・粉乳など
	減	混合植物油脂、ビスケット類など

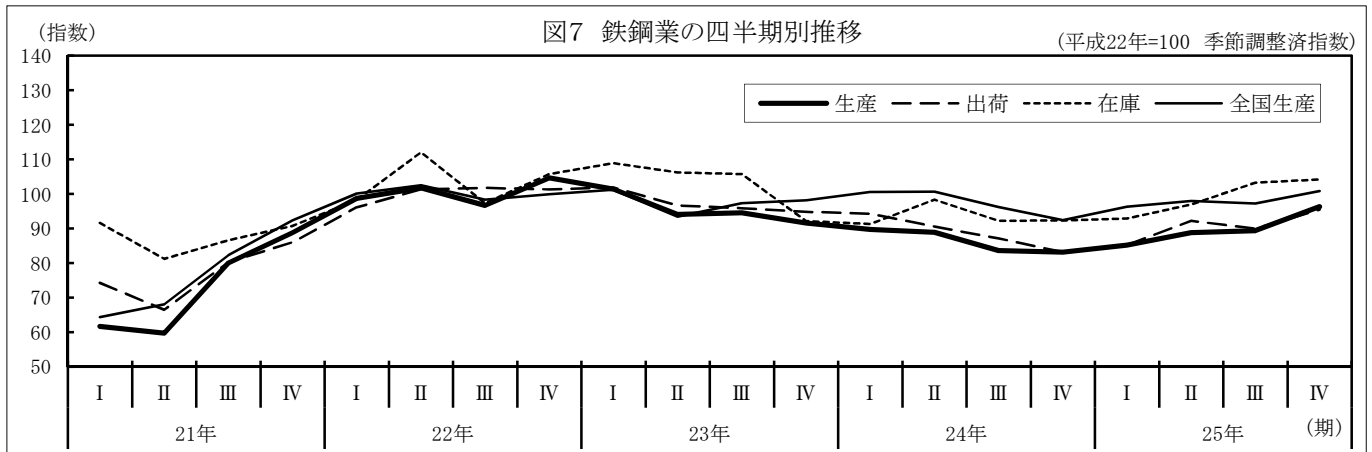
*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

<鉄鋼業>

－生産、出荷とも3年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、89.9で前年比3.3%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、鋼半製品や普通鋼鋼帯などが増加し、鉄系鍛工品などが減少しました。
また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、97.9で前年比0.4%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

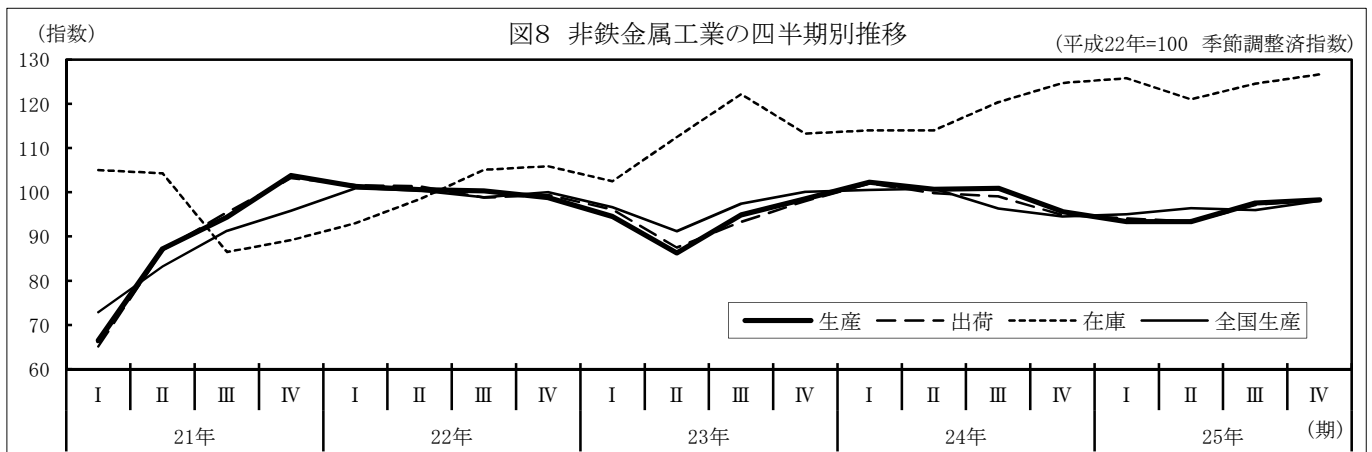
出荷指数(原指数)は、90.6で前年比2.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、普通鋼鋼帯や特殊鋼熱間圧延鋼材などが増加し、特殊鋼鋼管などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、103.8で前年末比13.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、普通鋼鋼帯や普通鋼鋼板などが増加し、普通鋼鋼管などが減少しました。

<非鉄金属工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、95.5で前年比5.1%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、光ファイバやダイカストなどが減少し、伸銅製品などが増加しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、96.3で前年比1.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

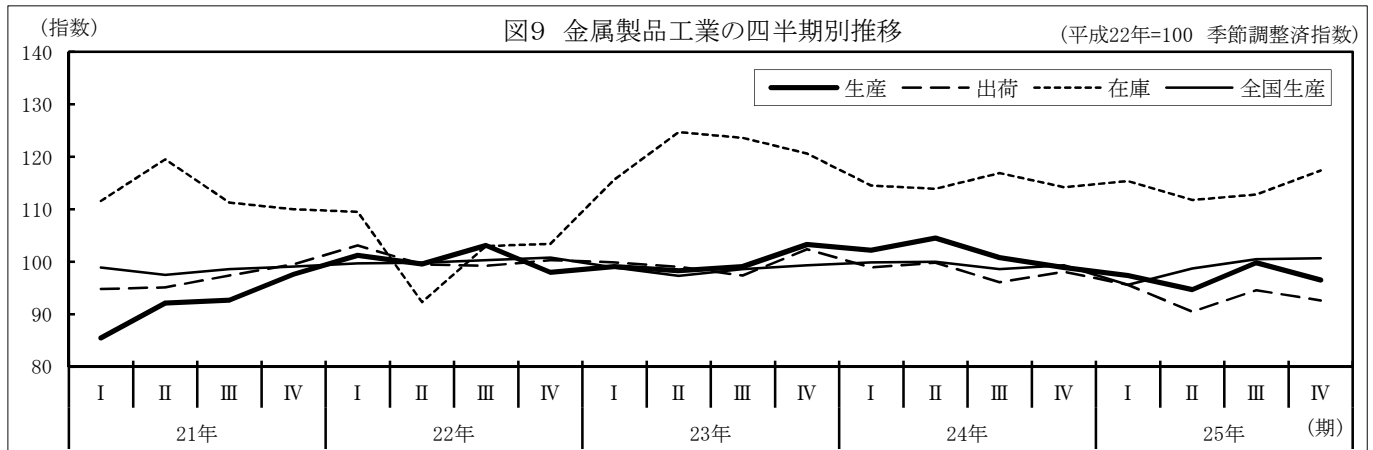
出荷指数(原指数)は、95.7で前年比3.9%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、光ファイバやダイカストなどが減少し、伸銅製品などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、135.0で前年末比2.7%上昇し、4年連続して上昇しました。
品目別にみると、伸銅製品や電力用電線・ケーブルが増加し、銅電線などが減少しました。

<金属製品工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、97.0で前年比5.2%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ばねや超硬チップなどが減少し、飲料用アルミ缶が増加しました。
また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、98.9で前年比0.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

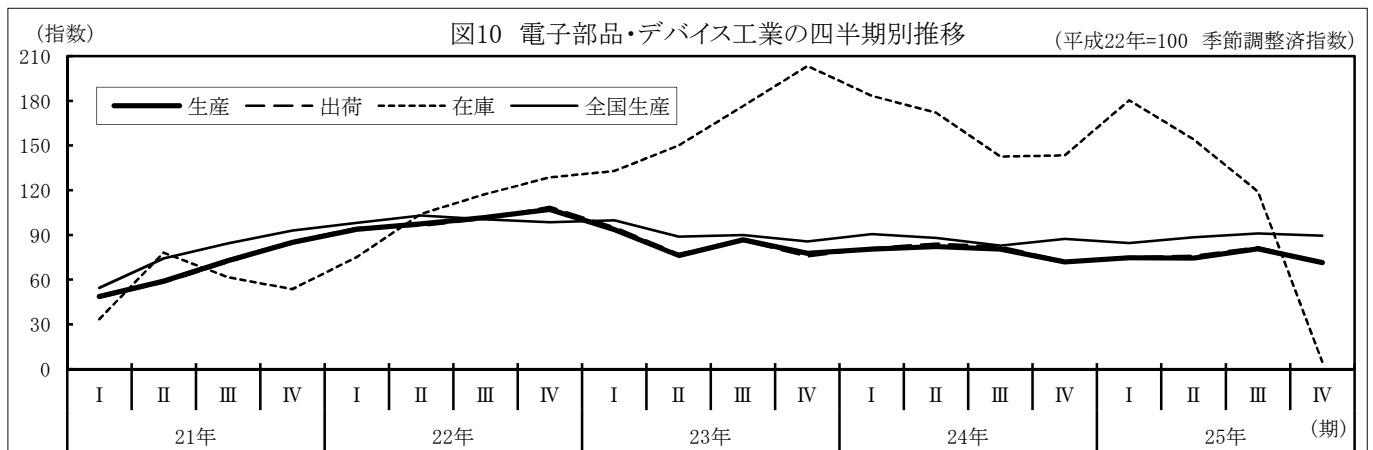
出荷指数(原指数)は、93.3で前年比5.9%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、食缶や超硬チップなどが減少し、ガス機器が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、115.6で前年末比4.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、飲料用アルミ缶やガス機器が増加し、食缶などが減少しました。

<電子部品・デバイス工業>

－生産、出荷とも3年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、75.5で前年比4.8%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、電子回路基板やモス型半導体集積回路(CCD)などが減少し、コネクタが増加しました。
また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、88.5で前年比1.5%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

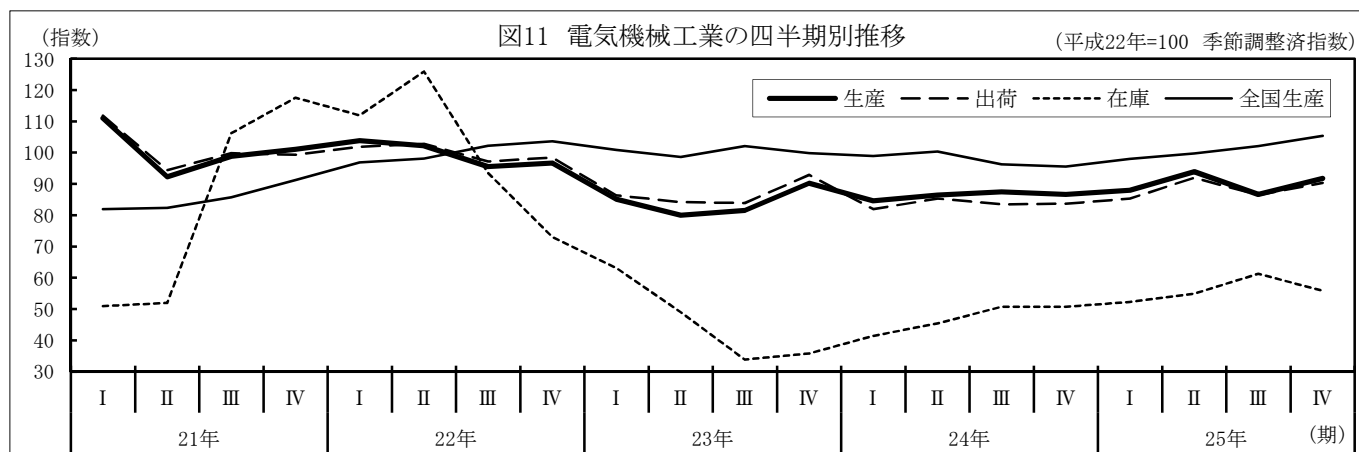
出荷指数(原指数)は、76.2で前年比5.3%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、線形半導体集積回路やモス型半導体集積回路(CCD)などが減少し、コネクタが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、3.7で前年末比97.6%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、線形半導体集積回路が減少しました。

<電気機械工業>

－生産は2年連続の上昇、出荷は9年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、89.6で前年比3.6%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、非標準変圧器や交流発電機などが増加し、交流電動機などが減少しました。
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、101.2で前年比3.1%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

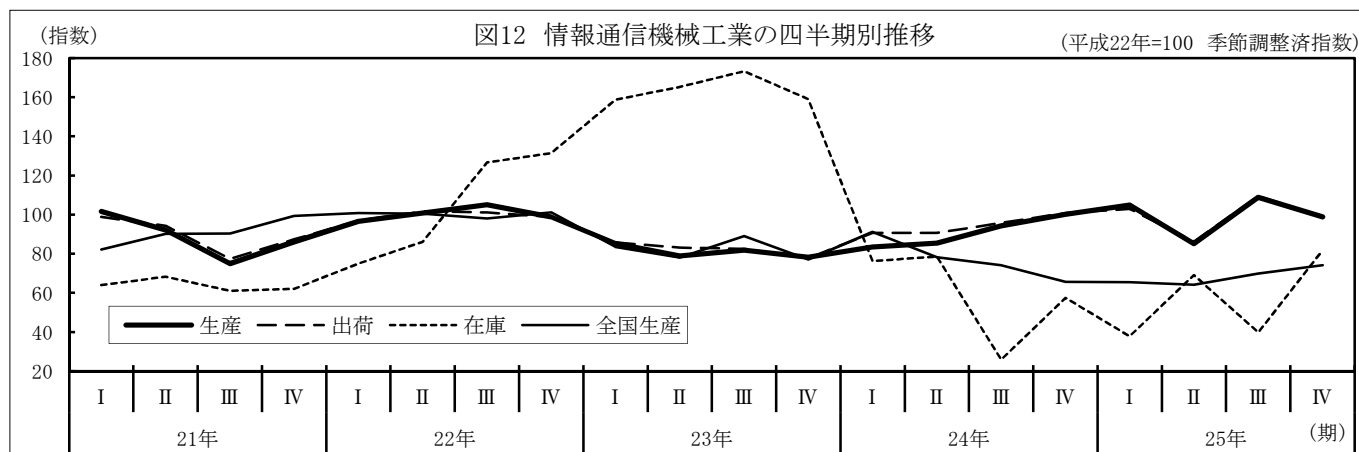
出荷指数(原指数)は、88.2で前年比4.3%上昇し、9年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、低圧開閉スイッチや非標準変圧器などが増加し、交流電動機などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、58.1で前年末比7.8%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、換気扇や自動車用照明器具が増加し、高圧放電灯器具などが減少しました。

<情報通信機械工業>

－生産、出荷とも2年連続の上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、99.6で前年比8.1%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、デジタル伝送装置やパーソナルコンピュータなどが増加し、はん用コンピュータなどが減少しました。
また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、68.6で前年比11.1%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

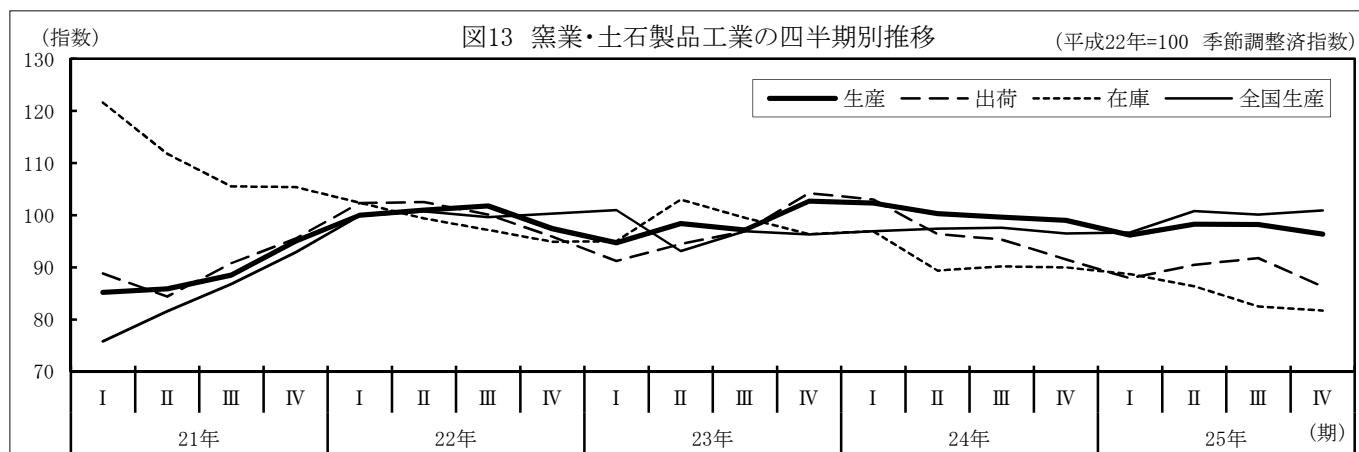
出荷指数(原指数)は、99.5で前年比4.0%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、デジタル伝送装置やパーソナルコンピュータなどが増加し、無線応用装置などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、109.1で前年末比55.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、陸上移動通信装置やパーソナルコンピュータなどが増加しました。

<窯業・土石製品工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、97.2で前年比3.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、安全ガラスやガラス製容器類などが減少し、板ガラスなどが増加しました。

また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、99.7で前年比2.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、89.2で前年比7.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、安全ガラスやガラス製容器類などが減少し、ガラス短繊維製品などが増加しました。

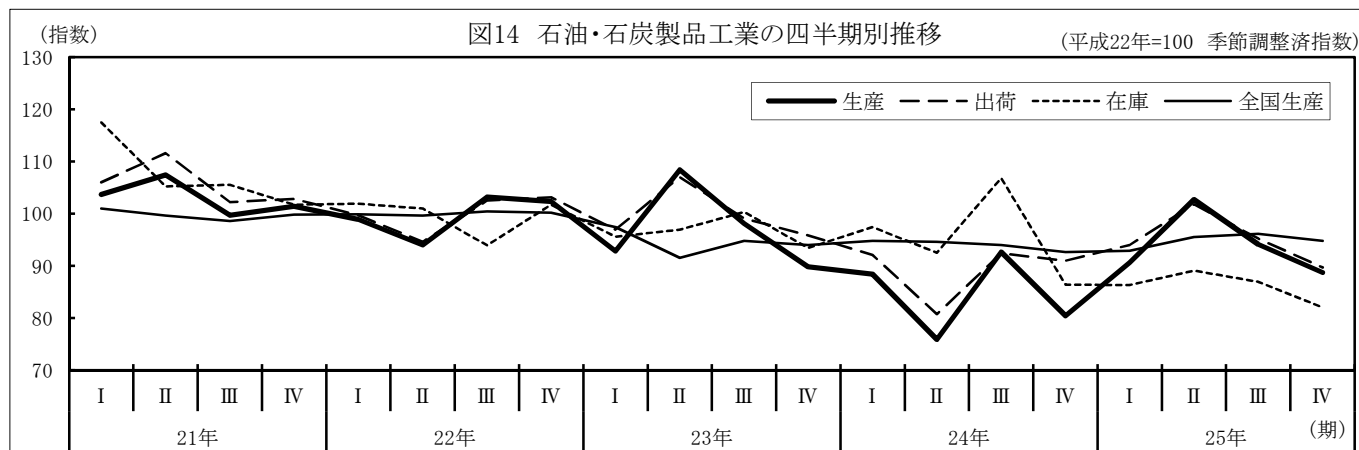
<在庫>

在庫指数(原指数)は、80.0で前年末比9.2%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、理化学・医学用ガラスや複層ガラスなどが減少し、ガラス短繊維製品などが増加しました。

<石油・石炭製品工業>

—生産は4年ぶりの上昇、出荷は8年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、93.6で前年比10.8%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、ガソリンや軽油などが増加し、灯油などが減少しました。

また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、94.8で前年比0.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、95.0で前年比5.9%上昇し、8年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、軽油やガソリンなどが増加し、C重油などが減少しました。

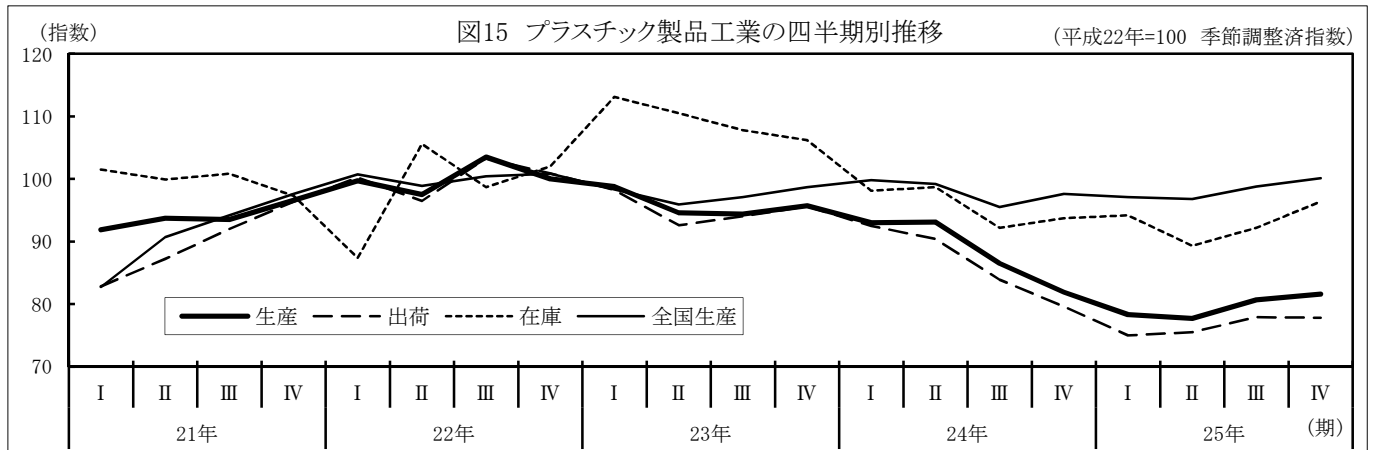
<在庫>

在庫指数(原指数)は、77.4で前年末比7.3%低下し、5年連続して低下しました。

品目別にみると、ガソリンや軽油などが減少し、灯油などが増加しました。

<プラスチック製品工業>

－生産、出荷とも3年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、79.6で前年比10.3%低下し、3年連続して低下しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製パイプなどが減少し、発泡プラスチック製品が増加しました。
 また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、98.2で前年比0.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

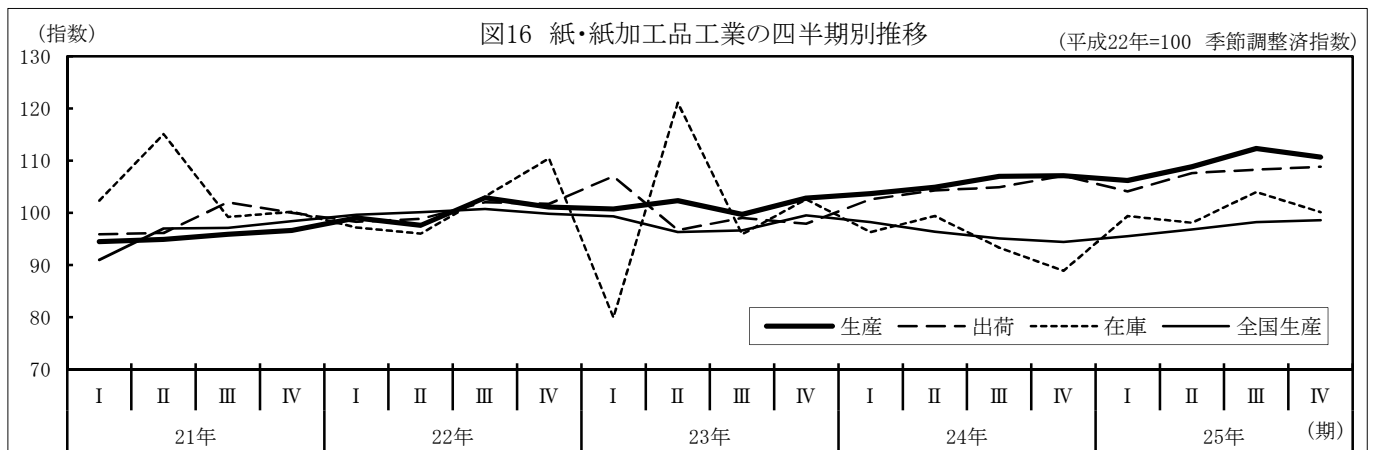
出荷指数(原指数)は、76.6で前年比11.8%低下し、3年連続して低下しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製パイプなどが減少し、発泡プラスチック製品が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、96.1で前年末比4.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、プラスチック製容器やプラスチック製フィルム・シートなどが増加し、プラスチック製機械器具部品などが減少しました。

<紙・紙加工品工業>

－生産は4年連続の上昇、出荷は2年連続の上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、109.6で前年比3.3%上昇し、4年連続して上昇しました。
 品目別にみると、段ボールシートや衛生用紙が増加しました。
 また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、97.3で前年比1.1%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

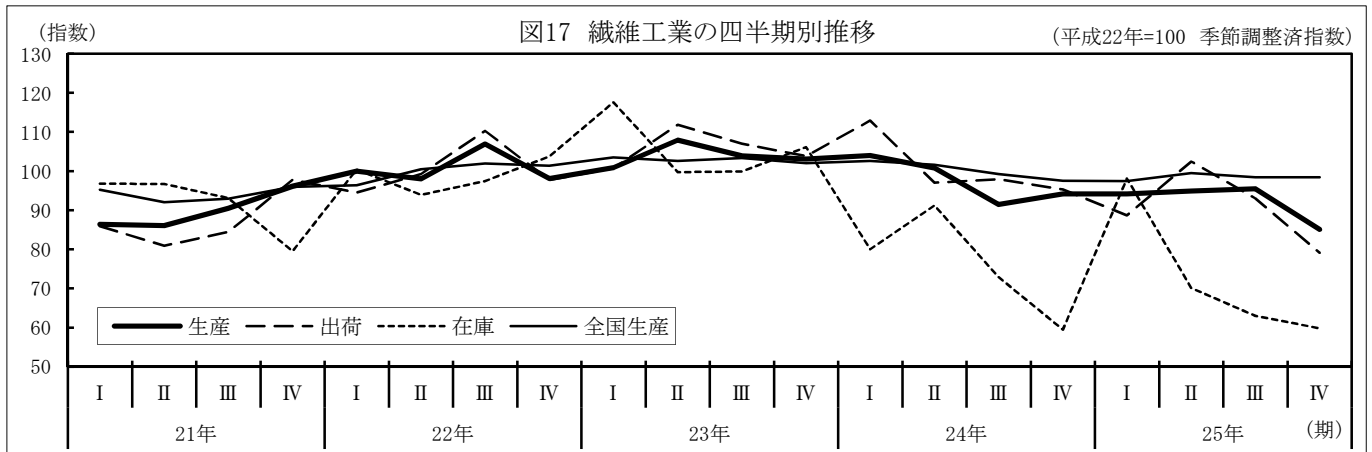
出荷指数(原指数)は、107.5で前年比2.0%上昇し、2年連続して上昇しました。
 品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、86.0で前年末比10.5%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが増加しました。

<繊維工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、92.0で前年比6.6%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、合成繊維やふとんなどが減少し、不織布が増加しました。
また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、98.4で前年比2.0%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

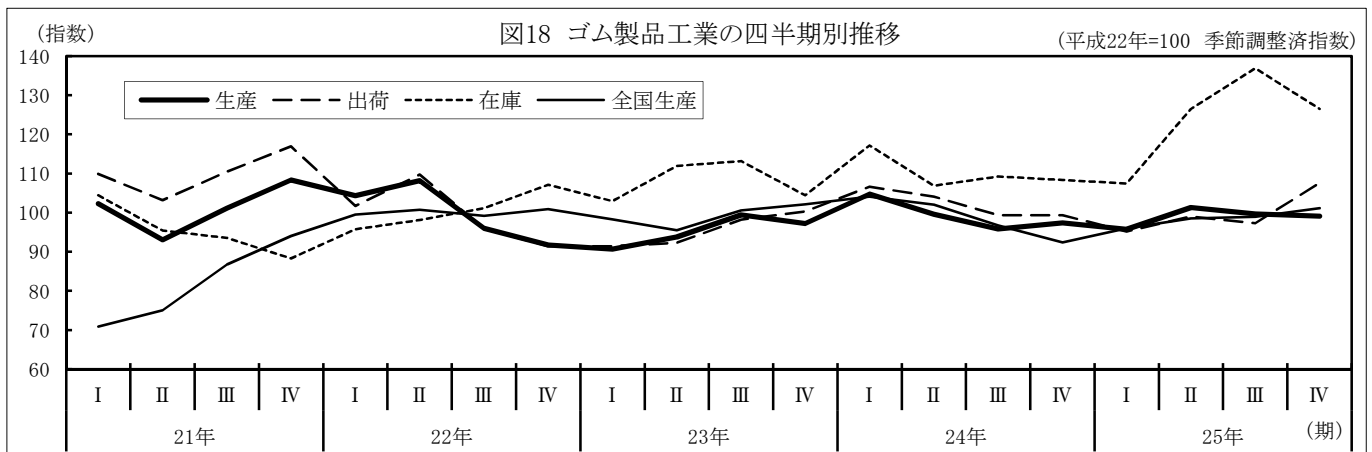
出荷指数(原指数)は、90.8で前年比9.7%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、合成繊維やニット・織物製外衣などが減少し、不織布が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、74.4で前年末比12.5%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、合成繊維やふとんが減少し、不織布が増加しました。

<ゴム製品工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、99.0で前年比0.3%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ゴムホースが減少し、コンベヤベルトなどが増加しました。
また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、98.5で前年比0.3%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

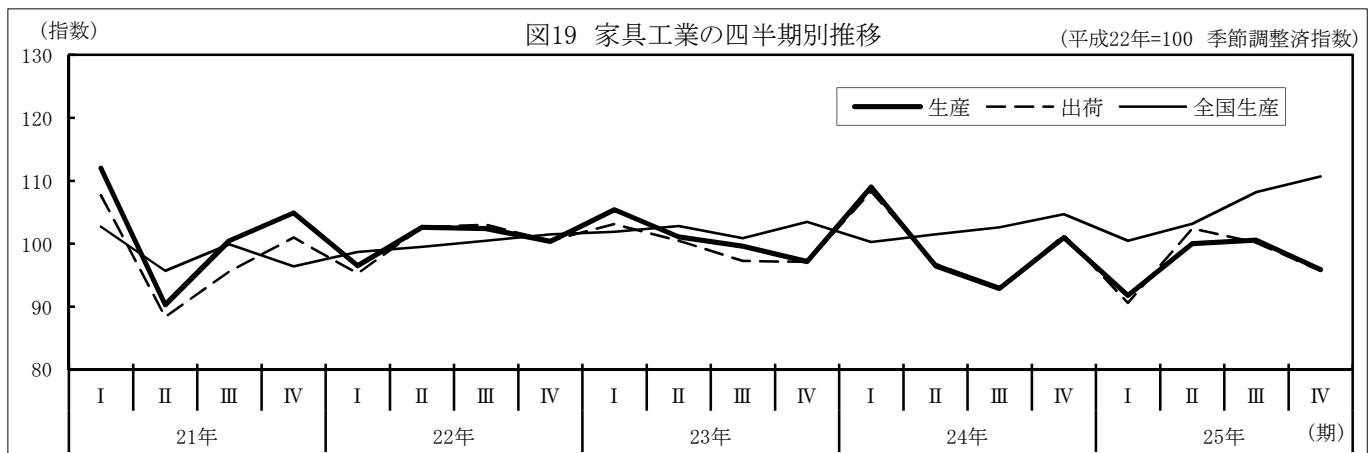
出荷指数(原指数)は、100.1で前年比1.1%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ゴムホースや工業用ゴム製品が減少し、コンベヤベルトが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、116.4で前年末比15.7%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、工業用ゴム製品やゴムホースなどが増加しました。

<家具工業>

－生産は3年ぶりの低下、出荷は2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、96.6で前年比4.3%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、金属製間仕切りやその他の金属製家具などが減少し、システムキッチンなどが増加しました。

また、全国の家具工業の生産指数(同)は、105.6で前年比3.0%上昇し、4年連続して上昇しました。

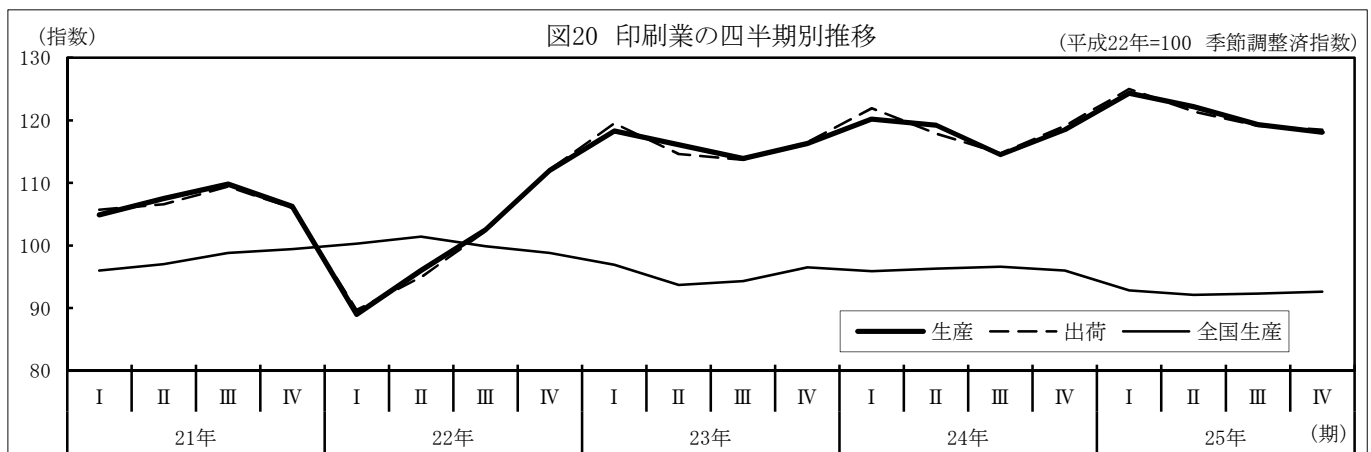
<出荷>

出荷指数(原指数)は、96.5で前年比3.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、金属製間仕切りやその他の金属製家具などが減少し、システムキッチンなどが増加しました。

<印刷業>

－生産、出荷とも3年連続の上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、120.9で前年比2.1%上昇し、3年連続して上昇しました。

品目別にみると、建装材印刷や包装印刷などが増加し、商業印刷などが減少しました。

また、全国の印刷業の生産指数(同)は、92.4で前年比4.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、120.9で前年比2.0%上昇し、3年連続して上昇しました。

品目別にみると、建装材印刷や包装印刷などが増加し、商業印刷などが減少しました。

3 財別の出荷動向

ー 最終需要財、生産財ともに3年連続の低下 ー

平成25年の出荷動向を特殊分類による財別でみると、**最終需要財出荷指数**（原指数）は、90.0で前年比5.4%低下し、3年連続して低下しました。

また、**生産財出荷指数**（原指数）は、90.2で前年比3.8%低下し、3年連続して低下しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財はⅠ期は前期比0.3%低下、Ⅱ期は同0.1%上昇、Ⅲ期も同3.6%上昇、Ⅳ期は同1.8%低下しました。生産財はⅠ期は前期比1.4%低下、Ⅱ期は同1.6%上昇、Ⅲ期も同1.3%上昇、Ⅳ期は同1.5%低下しました。

(1) 最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、98.7で前年比2.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、鋼船や普通トラックなどが減少し、デジタル伝送装置などが増加しました。

建設財出荷指数（原指数）は、100.5で前年比1.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、エレベータや換気扇などが増加し、プラスチック製パイプなどが減少しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

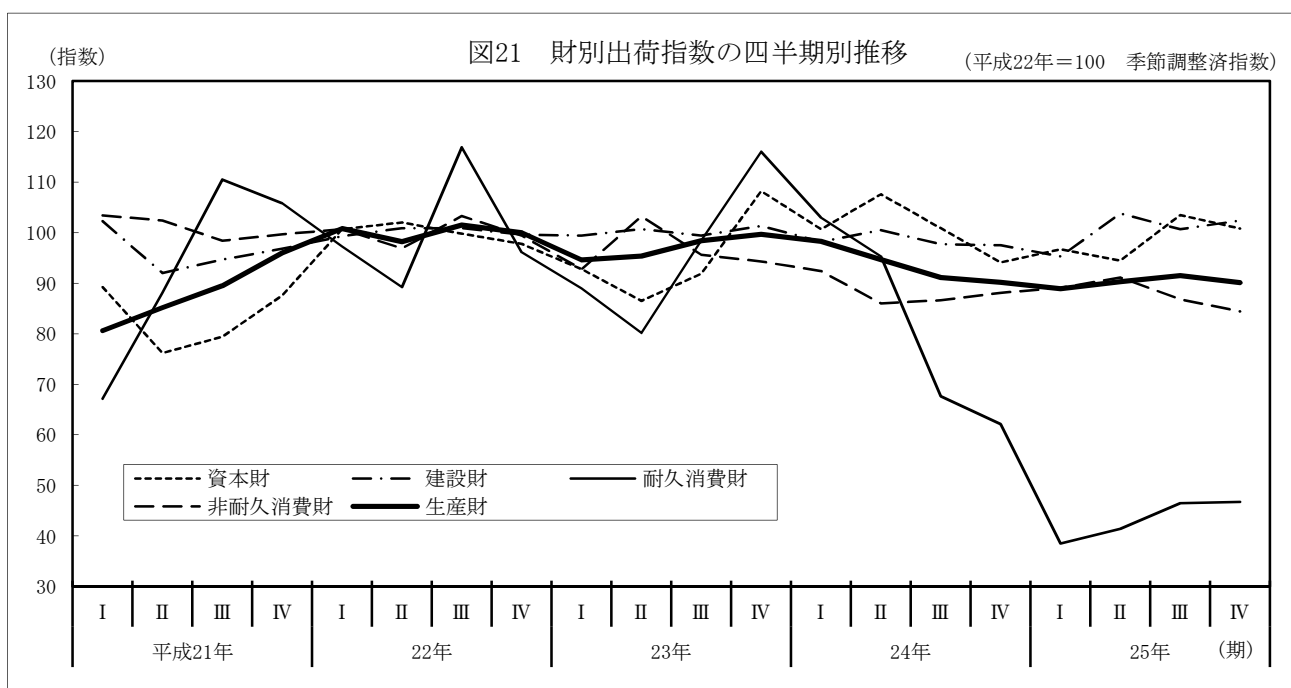
耐久消費財出荷指数（原指数）は、43.4で前年比47.3%低下し、3年連続して低下しました。品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少し、パーソナルコンピュータなどが増加しました。

非耐久消費財出荷指数（原指数）は、87.8で前年比0.8%低下し、7年連続して低下しました。品目別にみると、化粧品や炭酸飲料などが減少し、ガソリンなどが増加しました。

(2) 生産財

品目別にみると、シャシー・車体部品やエンジン（自動車用）などが減少し、軽油などが増加しました。

（P19表9、表10参照）



（特殊分類についてはP83、P85表11参照）

表 9 財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成22年=100)

財	年・期	22年	23年	24年	25年	24年	25年			
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	100.0	96.0	94.5	90.1	89.7	89.0	89.5	91.9	90.3
	対前年(期)増減率%	11.7	△ 4.0	△ 1.6	△ 4.7	△ 2.5	△ 0.8	0.6	2.7	△ 1.7
最終需要財	指数	100.0	95.3	95.1	90.0	89.2	88.9	89.0	92.2	90.5
	対前年(期)増減率%	9.8	△ 4.7	△ 0.2	△ 5.4	△ 3.3	△ 0.3	0.1	3.6	△ 1.8
投資財	指数	100.0	95.0	101.3	99.0	94.5	96.7	95.7	103.1	101.0
	対前年(期)増減率%	17.6	△ 5.0	6.6	△ 2.3	△ 6.1	2.3	△ 1.0	7.7	△ 2.0
資本財	指数	100.0	94.2	101.6	98.7	94.1	96.7	94.5	103.5	100.8
	対前年(期)増減率%	20.2	△ 5.8	7.9	△ 2.9	△ 6.7	2.8	△ 2.3	9.5	△ 2.6
建設財	指数	100.0	99.9	98.8	100.5	97.5	95.3	103.8	100.7	102.4
	対前年(期)増減率%	3.7	△ 0.1	△ 1.1	1.7	△ 0.2	△ 2.3	8.9	△ 3.0	1.7
消費財	指数	100.0	95.8	87.2	78.4	82.8	78.1	80.3	78.9	76.5
	対前年(期)増減率%	0.9	△ 4.2	△ 9.0	△ 10.1	△ 0.7	△ 5.7	2.8	△ 1.7	△ 3.0
耐久消費財	指数	100.0	94.6	82.3	43.4	62.1	38.5	41.4	46.5	46.7
	対前年(期)増減率%	7.1	△ 5.4	△ 13.0	△ 47.3	△ 8.1	△ 38.0	7.5	12.3	0.4
非耐久消費財	指数	100.0	96.1	88.5	87.8	88.1	89.1	91.1	86.8	84.4
	対前年(期)増減率%	△ 0.7	△ 3.9	△ 7.9	△ 0.8	1.7	1.1	2.2	△ 4.7	△ 2.8
生産財	指数	100.0	96.6	93.8	90.2	90.2	88.9	90.3	91.5	90.1
	対前年(期)増減率%	13.8	△ 3.4	△ 2.9	△ 3.8	△ 1.0	△ 1.4	1.6	1.3	△ 1.5

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 10 財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上昇	建設財	1.7	0.07	増	エレベータ、換気扇、普通鋼鋼管など
				減	プラスチック製パイプ、生コンクリートなど
低下	生産財	△ 3.8	△ 1.95	増	軽油、蒸気タービン部品など
				減	シャシー・車体部品、エンジン(自動車用)、駆動伝導・操縦装置部品など
	耐久消費財	△ 47.3	△ 1.84	増	パーソナルコンピュータ、石油機器
				減	小型乗用車、普通乗用車、ふとんなど
資本財	△ 2.9	△ 0.74	増	デジタル伝送装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など	
			減	鋼船、普通トラック、半導体製造装置など	
非耐久消費財	△ 0.8	△ 0.12	増	ガソリン、清涼飲料(炭酸飲料除く)など	
			減	化粧品、炭酸飲料、牛乳など	

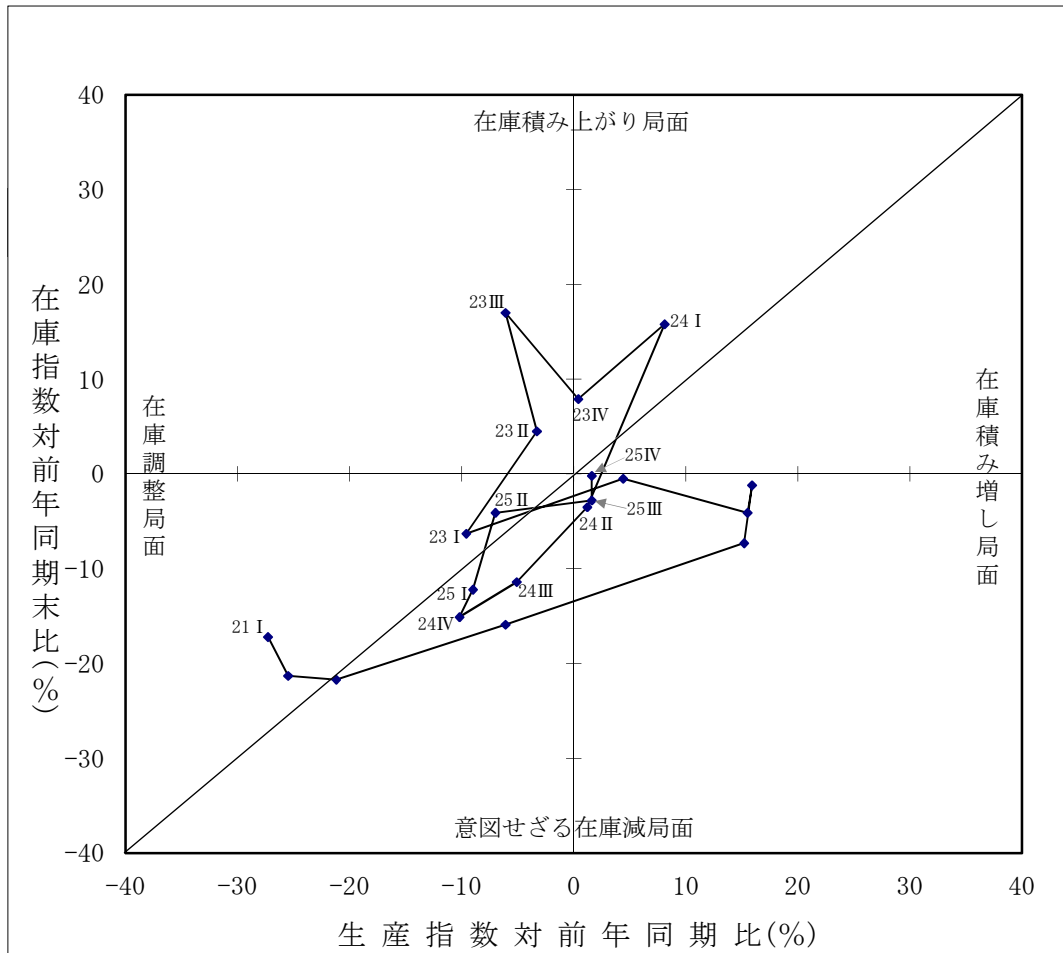
<参考> 在庫循環図

平成25年Ⅰ期の生産指数（原指数）は前年同期比9.0%低下し、在庫指数（同）は前年同期末比12.2%低下しました。Ⅱ期の生産指数（同）は前年同期比7.0%低下し、在庫指数（同）は前年同期末比4.1%低下しました。Ⅲ期の生産指数（同）は前年同期比1.6%上昇し、在庫指数（同）は前年同期末比2.8%低下しました。Ⅳ期の生産指数（同）は前年同期比1.6%上昇し、在庫指数（同）は前年同期末比0.2%低下しました。

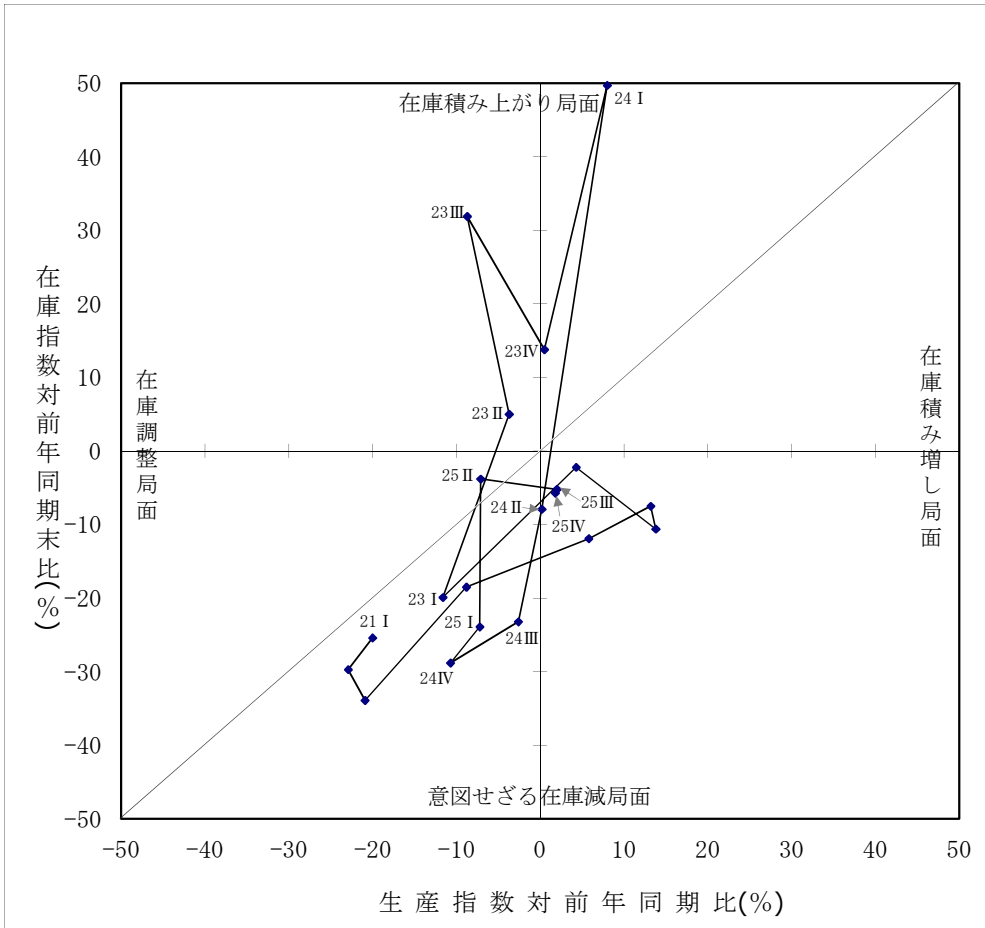
※在庫循環図の見方（生産と在庫について、以下のような循環が見られる場合が多い。）

- 意図せざる在庫減局面：需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面：生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面：需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面：生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

製造工業



最終需要財



生産財

